

市川市LINEを活用した女性相談事業【市川市】

総事業費	3,598 千円
交付金額	1,799 千円

地域の実情と課題

- 平成23年10月に配偶者暴力相談支援センターの機能を有して以降、被害者の保護と自立支援を総合的かつ計画的に推進するため、女性の一般相談と並行してDV相談を実施。
- コロナ禍において、既存のツールだけでは拾いきれない相談ニーズや、時代とともに困りごとの質も変化していることが判明し、新たなニーズや変化に対応した支援策を打ち出す必要性がある。

事業の特徴

- 新型コロナウイルス感染症の拡大等に起因し、社会との絆・つながりが薄くなってしまったことで不安を抱える女性や、寄り添った支援が必要にも関わらず支援の届いていない女性に対し、より身近で手軽なLINEの手法を用いた相談を実施し、必要な支援につなげるもの。
- 相談に繋がった女性が生理の貧困に陥っていた場合、生理用品の支給を行う。

連携団体

- SNS相談事業を市内で活動しているNPO法人
- 本市男女共同参画センターで実施している女性のための相談室

目的・目標

- 市全域で女性相談支援が充実していると思う人の割合を増加させる。
11.3%(令和3年度)→増加させる(令和4年度目標)
- 相談実施日数の確保
令和4年度新規事業としてスタート:相談実施日数:166日

事業の効果

- 相談窓口への来所や電話ができないなど多様化するDV等の困難に直面している女性に対して、SNSという匿名性・無声(通話のように声を出さずに文字で打てる相談)のツールを追加したことで、困難な状態にある女性の改善を図ることができた。
- 市で行った市民アンケートとによる市の女性相談が充実していると思う人の割合は11%で前年度と同様の結果となった。
75%がわからないと回答していることから、DV等相談窓口について丁寧に周知していくことが必要である。

今後の課題

- 新規事業として令和4年度の後半からのスタートであったため、友達登録数や相談件数は少なかった。
- 今後は、相談があった場合に対応するだけでなく、様々な媒体で本事業を紹介していくなど、多くの方に利用していただくための工夫が必要である。

事業の概要

市川市LINEを活用した女性相談事業

市内のNPO法人に事業を業務委託し、寄り添った支援が必要にも関わらず支援の届いていない女性を支援するため、新規事業として取り組みを実施。

●市の広報紙で周知

LINEを活用した「女性相談」を始めました

匿名で困りごとを相談できます。
利用には友だち登録(右記2次元コード参照)が必要です。

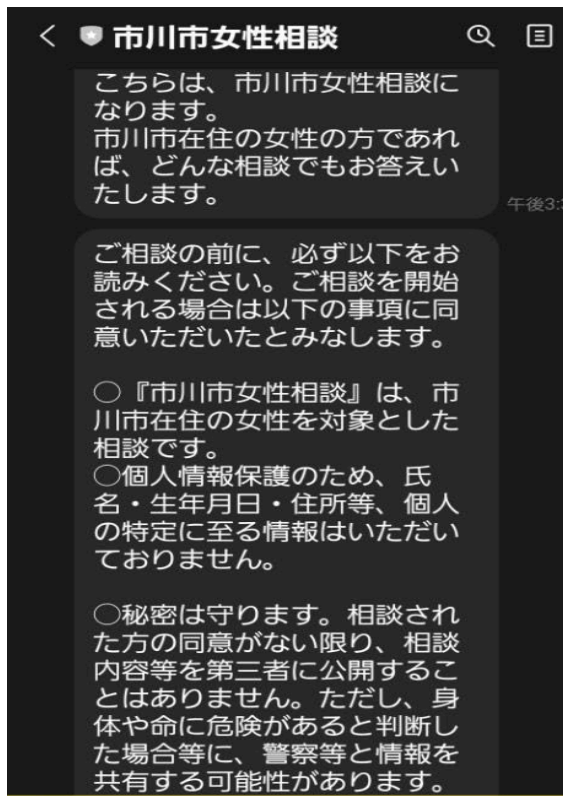


☎0322-6700多様性社会推進課

●希望する方に生理用品を配布、様々な言語で各種相談窓口を周知。



●SNS(LINE)の相談画面(友達追加及び事前アンケート画面)



相談をはじめ
受付時間：月・水・金 午前9時～17時
(祝日を除く)

